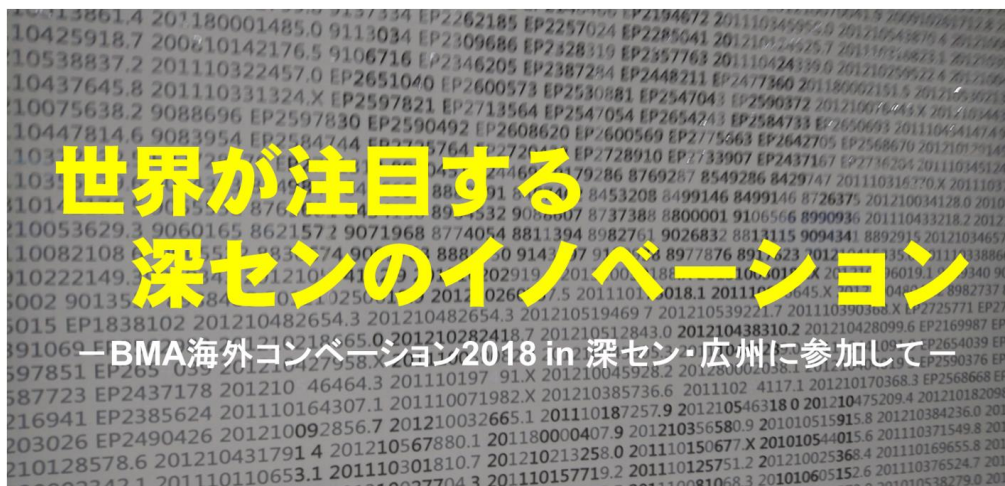


フジサンケイビジネスアイ「経志会」



東京サンケイビル | 2018年4月24日 | 張輝

フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

目次

はじめに	3
1. 深センはどういうところなのか	4
2. どこへ行き、どうしてきたのか	14
3. 行ってみて何を実感したのか	26
おわりに	35

講師略歴 (37)



フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

はじめに

深圳に行ったことのある方は？
深圳と香港、GDPが高いのは？
深圳は上海を超えていると思う？

許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K CHO

3

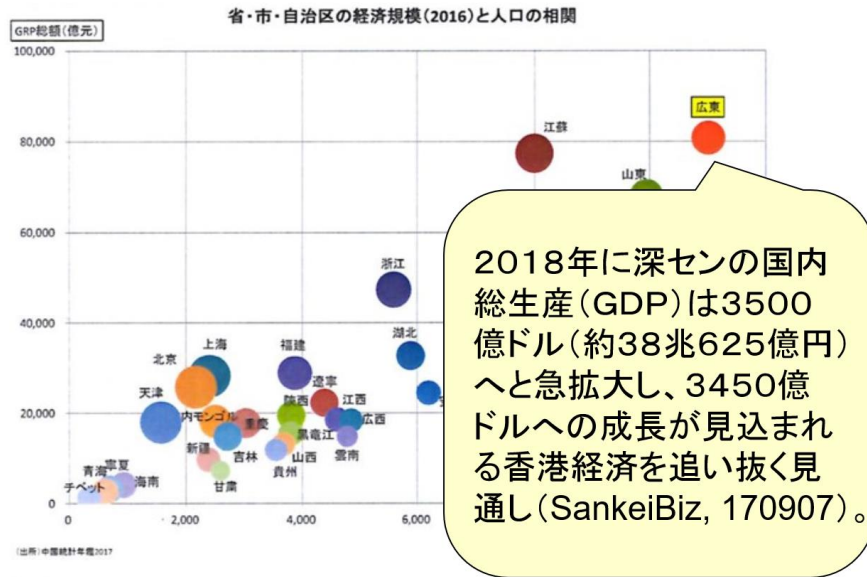
1. 深センはどのようなところなのか

- 1.1 地理的位置と経済的現状
- 1.2 中国初の経済特区の一つ
- 1.3 昨今日本での「深セン話」

1.1.1 地理的位置



1.1.2 経済的現状(1/2)



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K. CHO

6

1.1.2 経済的現状(2/2)



出所: 新浪(20180203)

許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K. CHO

7

1.2 中国初の経済特区の一つ(1/5)

中国において、外国の資本や技術の導入が認められている特別地域をさす。1978年から始まった改革開放政策の一環として設置され、さかんに外国企業が進出し、工業・商業・金融業などが発展した。

1979年

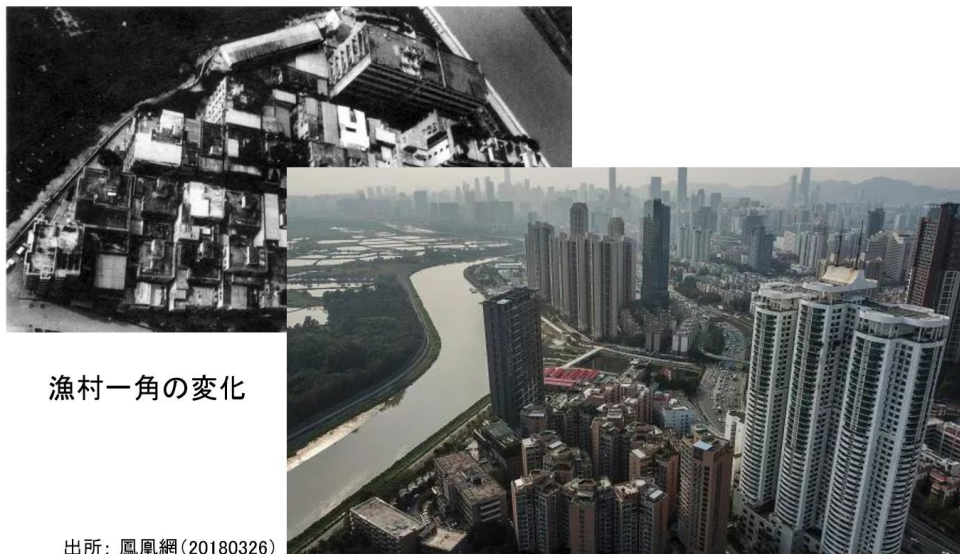
深圳 - 香港に隣接する。

珠海 - マカオに隣接する。

汕頭 - 華僑が多く、海外との交流が密接である。

廈門 - 台湾の対岸に位置する。

1.2 中国初の経済特区の一つ(2/5)



漁村一角の変化

出所: 鳳凰網(20180326)

1.2 中国初の経済特区の一つ(3/5)



蛇口港の変化

出所: 鳳凰網(20180326)



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K. CHO

10

1.2 中国初の経済特区の一つ(4/5)



深圳河の変化

出所: 鳳凰網(20180326)



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K. CHO

11

1.2 中国初の経済特区の一つ(5/5)



ある家庭の変化

出所: 鳳凰網(20180326)



1.3 昨今 日本での「深セン話」

- ・「無限の欲望の街」深センを視察して見えた、日本産業の暗い未来
- ・パナ上回る「売上8兆円」中国企業の“凄い”素顔 ファーウェイ本社 潜入 —— 年間47%成長するエンタープライズ分野とは
- ・山寨の聖地 世界最大の電気街 華強北 —— 秋葉原の30倍
- ・新型産業創出パーク —— 深セン灣創業広場



どのように思われますか。
さあ、行ってみようじゃないか！

2. どこへ行き、どうしてきたのか

- ・1枚の写真からお話しよう
- ・深圳＝深セン



フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.1 2/5、広州へ、そして深圳へ



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K CHO

16

フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.2 2/6、午前① 深圳投資推广署



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K CHO

17

フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.3 2/6、午前② 深圳湾創業広場

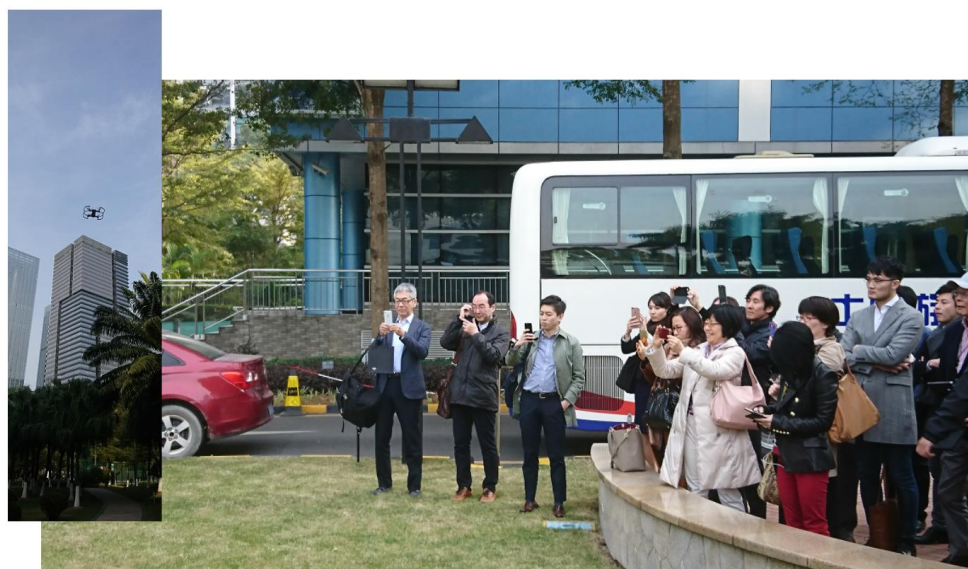


許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K. CHO

18

フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.4 2/6、午後① DJI



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K. CHO

19

フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.5 2/6、午後② ショッピングセンター



フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.6 2/7、午前、華為(ファーウェイ)



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K-CHO

21

フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.7 2/7、午後① 華強北商業区



フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.8 2/7、午後② 中国文化テーマパーク



フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.9 2/8、午前、移動。午後、JETRO広州事務所



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K CHO

24

フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝

2.10 2/8、夕方、打上懇談会



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K CHO

25

3. 行って見て何を実感したのか

- 3.1 意外か驚き
- 3.2 参加者の声
- 3.3 個人的一言

3.1 意外か驚き

- ・暖房がほとんどない
- ・クレジットカードが使える場所は少ない
- ・深セン人は優しい
- ・食事はとにかくおいしい
-



3.2 参加者の声(1/6)

第一印象は空がきれいです。・・・認識しなければならないのは、ハイテク分野で日本を完全に凌駕し、グローバルに大きな存在感をすでに確立していることです。深センは安物や模造品を作る工場ではありません。むしろそういう低層の企業もあるでしょうが。



BMA前会長 松島克守(東大名誉教授)

全文は是非
BMAジャーナルの4月号をご参照

3.2 参加者の声(2/6)



全文は是非、BMAジャーナルの4月号をご参照

現在では中国で最も起業が盛んな都市となっており、新規登録企業数は1日で1千社を超え、人口比でいうと上海、北京などの3倍超である。また、深圳1都市でなんと日本全体の新規設立会社件数の3倍を超える数となっている。

事業創造大学院大学副学長 黒田達也

3.2 参加者の声(3/6)

過去の製品群の歴史、娯楽利用以外にも産業用としても多くの企業が活用していることを知り改めて感動しました。その感動から私は視察を終えた直後に最新モデルのドローンを買って帰ることを決めました。

しかし、様々なトラブルがあり購入するまでには多くの苦勞がありました。最終的には直営店の販売スタッフの懇意親切な対応により何とか購入することが出来たのですが、その販売スタッフの対応は大変素晴らしいものでありました。



許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K CHO

30

3.2 参加者の声(4/6)



これまでの中国の概念はリセットしなければならない。そして中国の背中をみて、日本も謙虚に、日本独自の成長を考えたいと思った。・・・華為は、終身雇用や年功序列を許さない。世界的な大企業になっても、顧客だけをしっかりと見据えて、謙虚に奮闘を続けている。・・・日本はどうだろう。

全文は是非
BMAジャーナルの4月号をご参照

許可なしの複製等を遠慮して下さい。(C) K CHO

31

3.2 参加者の声(5/6)

中国は今後も目まぐるしく変化して行くことでしょう。10年ひと昔ならぬ3年ひと昔というスピード感です。日本企業は、そして日本は、この変貌を遂げる巨大な隣人に対峙して、今、何をしなければならないのか。ともすれば内向きの事柄に焦点を当ててしまう日本人の一人として、深く自戒する今日この頃です。

全文は是非、BMAジャーナルの4月号をご参照



株式会社博報堂コンサルティング COO 浅見 斉

3.2 参加者の声(6/6)



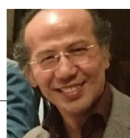
BMA会長 平野正雄
(早稲田大学商学院教授)

現代中国による社会主義に基づく政治体制と資本主義経済の組み合わせによる・・・矛盾した選択は、経済発展や政治的な影響力の高まりからは明らかに功を奏しているように見えます。・・・現代中国を見ることとは、20世紀のソビエト連邦を凌駕するような壮大な社会実験を目の当たりにすることに他ならないことなのです。

全文は是非
BMAジャーナルの4月号をご参照



フジサンケイビジネスアイ「経志会」向け | 演題「世界が注目する深センのイノベーション」 | By 張輝



講師略歴

張輝 (ちょうき)

政策系シンクタンク主席研究員、戦略系経営コンサルティングファーム統括マネージャーを経て、2003年に株式会社技術経営創研社長、博士。立教大学大学院ビジネスデザイン研究科(立教大学ビジネススクール、RBS)客員教授(前特任教授)、同大学経営学部客員教授。2015年よりBMAジャーナル(ビジネスモデル学会誌)編集長。所属学会等はビジネスモデル学会、日本知財学会、日本MOT学会、日本マーケティング学会、日本経済法学会、全国イノベーション推進機関ネットワーク等。総務省、国土交通省、経済産業省等の関連プロジェクトや日本ビジネスモデル大賞等の専門委員等を歴任。近著『実務と研究の「壁」をどう破るのか』(2018)、各種執筆や各界における講演多数。